

平成26年度事業報告書

社会福祉法人いわき会

デイサービス東神田の里

平成26年度事業報告（デイサービス東神田の里）

（通所介護・介護予防通所介護）

1、 目的

介護保険法に従い、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、また、日常生活上の世話及び機能訓練を行い利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図り不安のない生活を送りたいという高齢者の願いに応える様に努めております。

要支援者に対しては、日常生活の様々な活動の自立度の向上を重視した介護予防やリハビリテーション、個別のプログラムを作成し、別途のサービス提供を行って参りました。

2、 方針

サービス計画（ケアプラン）に基づいて、重度の入所者を受入れ、可能な限り、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活のお世話、体調管理及び療養上のお世話等を行い、入所者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように援助を行いました。

（1）認知症の利用者に対しては

傾聴や受容を基本に援助しています。認知症の人は、さまざまな関係を適切に保つことがむづかしく、周囲の物的環境との関係・家族を含む周囲との人的環境・以前できていたことができなくなり、プライドを失い自分自身との関係も適切に維持することが困難になり落胆・不安・戸惑い・恐怖につながり、その人らしい生活を送ることができなくなっていることにつながっていると考え認知症介護に携わる職員は、これらの点を理解し不安や戸惑いを和らげるように対応しております。また、認知症の人の言葉・動作・表情その人になにが起きているかを洞察し「気づき」のケアを重視し、認知症になっても多くの能力が保持されており失われた能力に注目するのではなく、保持する能力を活かす工夫を常に考え支援しております。

（2）家族や地域住民との交流について

情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応しております。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携した地域ネットワークを構築し、地域と一体になったケアを積極的に行いサービスの向上に努めました。お年寄りが住み慣れた地域社会、家族のきずながより深まるようにサポートをするとともに、人間性を尊重し、きめ細やかなサービスの提供に努めました。

（3）人材育成について

法人による研修計画並びに通所介護独自の研修計画を作成し、内部研修だけでなく外部の研修にも積極的に参加し医療・保健・福祉の各領域にかかわる幅広い知識と技術を身につけ、トータルなサービスのできる人材、高い資質をもつ人材を引き続き育成して参ります。

3、介護サービスの内容

(1) 食事サービスについて

HACCPの安全基準を満たし、食中毒の防止をはかると共に、管理栄養士が作成した献立表により栄養のバランスのとれたメニューをご用意しております。食べることは、大きな楽しみの一つでもあり食卓の雰囲気気を配り、四季折々に季節感あふれる食事を提供して参りました。また、職員・利用者が手洗いや消毒など励行し衛生管理にも努めております。

(2) 入浴サービスについて

体調に十分な注意を払い、快適かつ安全に入浴できるように援助を行い、清潔の維持・心身のリフレッシュを図っております。重度の方は、機械浴にて対応いたしました。

(3) 排泄サービスについて

排泄サービスは個別のペースに合わせて行い、同時に健康状態の把握等も行っております。高齢者の尊厳には十分配慮しており排泄状況についても、ご家族との連絡を密に行っております。

(4) 口腔清拭援助について

口腔ケアの一貫として、嚥下体操、うがい、歯磨きの声かけ・介助等を実施しています。

(5) 送迎サービスについて

安全を基本とし、送迎ルート、時間設定、車種、乗降の仕方を随時検討し、利用者が安心して負担なく利用できるよう支援しています。車両管理を随時行い送迎の安全、質の向上に努めております。

(6) アクティビティ・サービスについて

利用者が生きがいのある、快適で豊かな日常生活を送ることができるような生活援助や家庭での日常生活に必要な基礎的なサービス（訓練）及び機能低下を防ぐために必要な訓練を行いました。利用者が身体的、精神的な疲労回復と気分転換が図れるようなサービスを提供しております。

(7) 機能訓練について

筋力低下防止のための訓練、個々の体調に合わせ運動を行い自立に向けた支援を行いました。

(8) 健康管理について

看護職員による体温、脈拍、血圧、体重測定などにより日々の健康管理を行っております。利用者の身体的、精神的特徴を考慮し、個人の健康状態の的確な把握に努めるとともに、設備、備品等、の衛生管理に努めています。

（９）環境美化及び整備について

室内の清掃をこまめに行い、整理、整頓を励行する。清潔さを維持し快適な空間を確保しております。

（１０）苦情解決への取り組みについて

ご意見箱の設置や窓口を設け、苦情処理体制の整備・拡充を行い、苦情の際には利用者の意志及び人格を尊重するとともに、プライバシーの保護に十分配慮し、利用者の立場に立って迅速かつ適切な対応に努めております。

（１１）防災対策について

①出火防止、災害防止のため、防火設備等の点検管理を行い、不備欠陥のないよう安全の確保に努めています。

②発生時の被害を最小限にとどめるため、通報連絡・避難誘導・消火訓練を行い消防機関の指導を要請し H27.3 月夜間を想定し消防訓練を実施いたしました。

③非常災害対策に備えて、消防計画、風水害、地震等に対処する計画を作成し、非常食・水・懐中電灯、ラジオ等の常備、施設内外の危険箇所の把握、点検等、防災対策の徹底に努めております。

④地域住民に協力を得られるよう日々呼びかけるとともに、そのための関係づくりに努めております。

（１２）虐待防止について

高齢者に対する虐待は家庭や施設等で身近な問題として存在します。誰もが直面し得る人権課題として捉えるとともに、特に介護に携わる専門職は、高齢者の尊厳を支える利用者本位のより良いケアの実現を目指すことが求められており、高齢者虐待の防止に全力で取り組んでおります。

（１３）事故防止・安全対策・事故発生時対策について

介護従事者は常に「危機意識」を持ち利用者の安全を最優先する介護を徹底し、介護行為においては、確認・再確認作業を徹底し事故防止を図っております。安全管理体制を組織化するため事故発生の防止のための指針をしっかりと定め、指針にのっとり事故防止のための委員会の設置、事故防止のための職員研修に関する基本方針の策定、介護事故（インシデントも含む）報告制度の導入等を行い、常に組織として介護事故防止に取り組めます。事故及び「ひやり・はっと」事例の収集、分析、再発防止策の検討・策定、防止策の実施、防止対策後の評価を行い、改善策を職員に周知徹底する体制を整備することで事故再発防止を行っております。

(1 4) 個人情報保護対策について

「個人情報の保護に関する規定」に基づき、体制を整備し施設において個人情報保護に関する研修の実施、個人情報の取り扱い手順を共有し、施設全体で個人情報の漏洩防止に努めています。

(1 5) 地域交流の推進について

地域住民や地域の関係機関と協働し、日常的なつながりや交流を図りながら地域の高齢者介護の拠点として、地域のニーズに合わせ、地域住民とともに歩む施設となるように努めています。また、地域の方からの細かな相談にも対応しております。

(1 6) デイサービス利用状況

月	在籍者数	平均介護度	利用者/日	体験者数
26.10	7名	2.3	2名	12名
26.11	15名	2.5	4名	10名
26.12	19名	2.4	6名	3名
27.1	18名	2.4	6名	4名
27.2	18名	2.2	6名	2名
27.3	19名	2.3	7名	3名
				計 34名

(1 7) 介護度

	男	女	計	構成比率%
要支援 1	0名	1名	1名	5.3%
要支援 2	1名	2名	3名	15.8%
要介護 1	0名	0名	0名	0%
要介護 2	4名	3名	7名	36.9%
要介護 3	0名	2名	2名	10.5%
要介護 4	1名	1名	2名	10.5%
要介護 5	2名	2名	4名	21.0%
計	8名	11名	19名	100.00%
平均介護度	2.8	2.4	2.6	

(1 8) 職員在籍

職種	配置職員	職種	職員配置
管理者	1名	看護師（非常勤）	1名
生活相談員（常勤）	2名	介護職員（非常勤）	1名